

【専門試験(多肢選択式)】(農業農村工学)

「農業農村工学」区分は、必須問題と選択問題に分かれています。全部で76題出題し、このうち40題解答します。必須問題については、22題の全てを解答してください。選択問題については、54題から決められた方法により、18題解答してください。

○必須問題(農業農村工学に関する基礎)

農業・農村一般 3題、農業生産・環境一般 2題、数学・情報処理 3題、農業農村工学一般 6題、応用力学 4題、水理学 4題

○選択問題(9科目(各6題)から3科目選択)

選択問題は次の9科目(各6題)、計54題から構成されています。

設計・施工、農業水理学、土地改良、農村計画学・公共経済学、農村環境整備、機械基礎工学、生物生産機械工学、食料機械工学・生物生産施設工学、環境調節工学

* 解答する問題は、科目ごとの選択となります。科目をまたがったの選択はできません。例えば、農業水理学から3題、土地改良から3題選択して1科目分とすることはできません。

<受験者へのメッセージ>

農業土木分野、農村計画分野、農業機械分野を専攻する方々の専門分野を重視した試験内容としています。



数学・情報処理、応用力学、水理学、機械基礎工学は、特に計算問題が多く出題される分野です。大学の専門課程で学習する内容を中心に、大学で使う基本的な教科書、ハンドブックなどを勉強するとよいでしょう。



上記以外の分野については、大学の専門課程で学習する内容を中心に、大学で使う基本的な教科書、ハンドブック、食料・農業・農村白書などを勉強するとよいでしょう。



そのほか、新聞や公的機関のホームページを見て、時事的な内容や統計データにも関心を持ちましょう。また、英文の問題をこれまで何題か出題していました。

